

第 1 回 箕 郷 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
箕郷地域観光施設整備事業	1	<p>観光整備事業の芝桜公園は、トイレが仮設トイレとなっている。私の勤務先が旧高崎市内のため市内のお客と話す機会に、箕郷の芝桜公園はとても綺麗だが、トイレが整備されていないという声を聞くことがある。観賞期間が一時期であり常設トイレを造った場合、無駄な部分が生ずることも考えられるが、仮設だけではなく他の公園と同様に常設水洗トイレの設置を検討していただきたい。</p>	<p>芝桜公園は年間十数万人の方が訪れる。芝桜祭りの期間中は、仮設トイレで対応している。それ以外の期間も仮設トイレ2基を設置し対応している。</p> <p>確かに公園ということで常設水洗トイレは必要なものとする。芝桜公園整備の全体的な見直しが必要とする。見直しの中で常設水洗トイレの設置も検討したい。</p>
学校体育施設整備事業	1	<p>今月7日に箕郷中学校においてバザーが行われた。この準備中に関係者が体育館入り口付近の側溝に落ち、両足を擦り傷程度であるが怪我をした。この側溝より道路面が高く側溝に対して急な勾配ですりつかけが行われている状態である。当日は、雨天で夜間という関係もあったであろうが、危険と思われるので、この側溝に蓋をして頂きたい。</p> <p>また、夏に完成し、引渡しが行われたが体育館、武道館に網戸がない。夏場に体育館を使用する際、窓を開けようとしたが窓を開けると鳩や虫が入ってくるので、PTA役員と先生方で防虫ネットを設置した。網戸があれば鳩や虫を気にすることなく快適に部活動等ができると思う。高崎市全体の体育館等には網戸がないが、予算の関係と思うがそのような理由か。</p>	<p>体育館前の側溝の現状を見ると側溝の形そのものが溝蓋を設置できる構造になっていない。よって、側溝の蓋の関係については、現場踏査を行い検討したいと考える。</p> <p>防虫等の関係を含めた網戸については、高崎市には現在、屋内体育施設が90余りあるが現在のところ網戸は設置されていない状況である。ご理解を頂きたい。</p>
箕輪城跡保存整備事業	1	<p>箕輪城跡保存整備委員会が7月と11月に開催されるが、前回はどのような内容の委員会だったか。今後はどのような内容の会議になるのか。また、箕輪城跡の保存計画はどのようなものか。</p>	<p>整備委員会を4月と7月の2回開催した。次回は11月におこなう。11月の委員会に向けて設計業者と打合せを行っている。史跡の整備面積が広いので短期計画、中期計画、長期計画を立てていく。短期計画だけでも約10年から15年かかるので短期計画の中を3期程度に分けて整備をしていく計画である。</p>

<p>箕輪城跡保存整備事業</p>		<p>(前頁続き)</p>	<p>基本的には現状をあまり変えることなく整備をしていくのが良いという意見が委員から出ている。短期の第1期目として、箕輪城跡には崩落危険箇所として防空壕が4箇所程あるので、崩落の危険をなくす整備を計画している。本丸周辺の堀の斜面等が現状の深さは当時の深さよりも浅く、当時の深さにするには今よりも10m程度掘り下げなければならない。しかし、10m程度掘り下げると見学者にとっては非常に危険なので、設計業者との打合せでは現状の深さが良いのではないかとのことであった。これも、委員会で意見を伺いたいと思う。現状以上に掘り下げると崩落危険もあるので現状のままが良いと考える。また、樹木が非常に生い茂っているので、樹木の環境整備を最初に実施したほうがよいという意見が委員会で出ている。樹木の環境整備計画を本日設計業者と打ち合わせをしたので、次回11月の委員会で整備方針を決める予定である。これらの案が決定したら地元で説明会を行い、地元の委員や住民の方から意見を伺い、最終的に整備委員会に諮りたいと考えている。</p>
	<p>2</p>	<p>以前から箕輪城保存整備委員会の考え方が学術的な保存方法にこだわり過ぎているのではないかと感じられる。学術的な考え方も当然重要だが観光的要素も考慮するなど柔軟な考え方は取り入れられないか。</p>	<p>学術的な面と観光的な面のバランスを取る方向になると考える。 箕輪城は長野氏が築いて最後には井伊氏が入城した。時代の検証整備については、文化庁の考え方は井伊氏時代の形状の遺跡を基本に整備して欲しい旨ということである。井伊氏時代の形状は長野氏時代の上に築かれているため長野氏時代の形状で整備すると井伊氏時代の遺跡を壊してしまうため、長野氏時代を整備できない。 また、堀が非常に大堀切りで深いので、学術的に整備すると今よりも10m程度深くなり崩落の危険等があり一般の方が歩くことは困難になる。設計業者との打合せでは、一般の方も歩けるように現状の深さがよいのではとの意見であった。これも委員会で意見を伺わなければならない。このように、学術的な考え方と観光的な考え方の折衷案も出てくると思う。 箕輪城の建物等の史料が残っていないため建造物を復元するのは難しいと考える。発掘調査等を行い、史料的に価値のある物は復元をするのではなく、説明板等をその場所に設置するのがよいのではと委員からの意見もあった。今後も、委員にも意見を伺いながら方向を出していきたい。</p>

箕輪城跡保存整備事業	3	現状の箕輪城跡は樹木が大変生い茂っている。樹木の伐採計画があるとの話したが、市有の土地でもあり早期に実施出来るのではないか。	短期計画の中に環境整備として樹木の伐採計画があり順番として樹木の環境整備が最初だと考えられる。ただし、短期間に伐採を実施すると崩落等の危険が生じる。よって、計画的な伐採が望ましく来月に専門家による現地調査を行い伐採計画を基本計画に入れる予定である。
------------	---	--	--

報告事項に係る質疑

報告案件	No.	質 疑	回 答
箕郷地域住民センター設置事業	1	<p>平成21年度に原山地区集会所と本村地区集会所の建設が予定されていて既に業者指名が行われたようだ。平成20年度までは、箕郷地区内の建築業者が指名され入札の結果受注してきた。しかし、両集会所建設においては箕郷地区内の業者が業者指名に入っていない。今回の業者指名の経緯はどのようになっているのか。</p> <p>また、箕郷地域にも実績有る業者もある。受注金額のランク基準があったとしても事業の設計金額が選定クラスより2倍、3倍と大きく離れていれば仕方ないが、設計金額が選定クラス基準の2～3割程度位多いのであれば実績等を勘案して業者選定をして頂きたい。</p> <p>来年度も住民センター設置事業は行われると資料に記載されている。来年度以降は業者指名に実績等を考慮していただき、箕郷地区の業者も指名していただきたい。指名を受けた後はそれぞれ業者の企業努力によるものだが、まずは土俵にあげていただきたい。</p>	<p>住民センター設置事業は、設計及び工事監理を建築住宅課に委託しており、入札事務については契約課が行っている。高崎市の業者選定基準により行われていると認識をしている。箕郷地域内の業者が指名されていないことは確認していない。確認し次回の審議会で報告したい。</p> <p>合併当初は特例的な指名があった。しかし、約1年、2年前に指名基準を金額に見合った業者の選定を行う方式になってきた。設計金額により A・B・C クラス分けがあり、金額に見合ったクラスの業者が箕郷地区にいなかったことだと思われる。</p> <p>実情を把握していないので本庁に経緯を確認したいと思う。</p>
	2	<p>政権が変わり民主党政権になった。自民政権時は防衛省の補助金で箕郷地域の公共事業の一部を行ってきた。民主党政権では防衛省の補助金の削減あるいは補助金がなくなってしまう場合もあると思う。そのような場合はどのような対応をとっていくのか。</p>	<p>現在は防衛省からは補助金の削減や補助金がなくなる等の連絡はない。今年度、交付決定を受けている事案は事業を遂行するようになっている。交付決定金額が減額等になるようであれば、関係部局等と協議を行い防衛省等に要請を行うことになる。</p>

箕郷地域住民センター設置事業	3	懇談会時に質問した住民センター設置事業に関するこの回答を聞き、市の業者ランク格付けと設計金額の関係で、本村地区集会所の建設工事は3千万円以上の工事らしく、指名業者のランクは納得できた。しかし、原山地区集会所は2千万円以下の予定価格だが、Bクラスの指名業者になっていた。2千万円以下は、Cクラスの業者が指名に入れると聞いているが、その点はどうか。	確かに2千万円が区切りになっている。ただし、設計金額より指名を行うので原山地区集会所はBクラスの業者指名になった。
	4	原山地区集会所は設計金額と予定価格との間に差があったということか。	その様に思われる。
	5	市の基準があるのは分かった。しかし、懇談会時にも言ったように指名基準を地元の業者が入れるように多少配慮していただきたい。	心情は察するが、合併後は地域が広くなった。その様な状況下で基準について地元業者を入れていくような配慮することは今後も難しいと考える。 基準を変えてしまうと合併した他の地域との統一性がなくなってしまう。基準については、機会を見て伝えてほしい。
富岡生原線街路事業	1	過去にPTA役員として、栄橋の歩道の拡幅を要請してことがあるが、県道との関係で歩道拡幅が実現しなかった。その当時から板鼻バイパスが完成した場合は、箕郷大橋が通行でき歩行者の安全も確保できるとの話であった。 用地補償等の問題もあろうが歩行者の安全を考えて早期の完成を目指してほしい。	箕郷板鼻線に架かる栄橋は歩道もなく狭い橋である。また道路幅も狭く、急カーブが多く危険なためバイパスが計画された。用地買収等で難航したが昨年、交渉が成立し道路建設計画も前進することになった。県事業との絡みもあるが遠くない時期に事業が推進されると思われる。

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
箕輪城跡埋門付近の土地について	1	箕輪城長寿センター北の埋門付近の土地について市は買収したのか。買収しているのであれば少々荒れているが日頃から箕輪城長寿センターの来場者の車が駐車場に入れきれずに道路に止っているのが箕輪城長寿センターの駐車場として利用してはどうか。	その用地が指定史跡地として買収したものであれば駐車場として利用すること難しい。 (買収地であると確認)
箕輪城長寿センター駐車場について	1	箕輪城長寿センターの駐車場に入りきらない車が道路に止っている。箕輪城長寿センターに隣接するゲートボール場の利用がほとんどないので駐車場として利用できないのか。	箕輪城長寿センターの所管は本庁の長寿社会課である。センターに隣接するゲートボール場も長寿社会課が管理している。駐車場として利用しても問題がないか、長寿センターを通じながら所管の団体等と相談し調整したい。
箕郷町誌編纂について	1	以前、質問し回答をもらった箕郷町誌の続編について再確認の意味で伺いたい。箕郷広報をDVD-ROM化し配布してあるとのこと、これを見れば全てが分かると受けとめてよいのか。1970年から2006年までの広報誌がDVD-ROM化されたわけだが、箕郷町誌を見ると細かく歴史的なものから始まり、文化事業等々に至までの全てについて掲載されている。DVD化されたものが箕郷町史続編と理解してよいのか。	箕郷町誌については合併に際し調整方針として箕郷地域では町誌続編を作成する予定は無とした。それを補完する意味も含めて、平成17年度に箕郷町時代の広報誌をまとめ、DVD-ROM化し配布した。広報誌は、昭和45年から発行されており、各時々の事業や催し物が掲載されているので、このDVDを参考にしてみたいと以前回答した。 基本的には、箕郷町誌の見直しや続編を作成することは考えていない。ご理解を願いたい。
箕輪城まつりについて	1	昨日、箕輪城まつりを実施し、会場の整備を含めて、市の文化財保護課の方々に多方面で気配りをいただきながら会場準備ができた。また、地域振興課職員も総出で手伝っていただき、箕輪城まつりも無事に実施することができた。 両副市長には、朝、昼の時間に来場頂き、武者行列や開会式時に激励の挨拶をいただいた。この場をお借りしてお礼を申し上げます。	(謝礼)